



# Red Hat Enterprise Linux と Microsoft Azure

先進的な IT 環境のための  
インテリジェントで安定したセ  
キュリティ重視の運用基盤



## ハイブリッドクラウド：デジタル・トランスフォーメーションのためのビジネス・アクセラレーター

# 87%

のエンタープライズがハイブリッドクラウド戦略を採用しており、96%の組織が少なくとも1つのパブリッククラウドを使用しています。

出典：

Flexera、[「2020 State of the Cloud Report」](#)、2020年4月。

ハイブリッドクラウド・アプローチでは、オンプレミス・インフラストラクチャを維持して特定のワークロード、セキュリティ、またはコンプライアンスの要求に対応しながら、パブリッククラウドリソースのコストとアジリティのメリットを活用します。

パブリッククラウドリソースをハイブリッド・インフラストラクチャに統合することで得られるメリットは、無制限のスケーラビリティや大規模なコンピューティング・パフォーマンスなど、現在のイノベーション主導型の環境で競争するための鍵になります。しかし、ハイブリッドクラウドが組織とそのデジタル・トランスフォーメーションのプロセスに与える影響も考慮する必要があります。

ハイブリッドクラウドに関して言えば、考えるべきはいつ行うかではなく、どのように行うかです。

つまり、

- ▶ プロダクショングレードのクラウド環境をどのように構築しますか？
- ▶ 専門知識とサポートでどのようにクラウド移行を単純化しますか？
- ▶ 統合セキュリティでどのようにビジネスを保護しますか？
- ▶ クラウド管理をどのように効率化しますか？



## ハイブリッドクラウドへの移行を成功させるための 3つの考慮事項

# 86%

の組織が、Microsoft Azure を  
使用している、試している、  
または利用を計画しています。

出典：

Flexera、「[2020 State of the Cloud Report](#)」、2020年4月。

ハイブリッドクラウド戦略を開発する場合、パブリッククラウドリソースをハイブリッド・インフラストラクチャにうまく統合するためには次の3つのポイントを押さえておくことが重要です。

- 1. 複雑さを軽減する：アプリケーションがパブリッククラウド環境とオンプレミス環境の両方に存在する場合、複雑さの度合いが高まる可能性があります。アプリケーションをどのように管理しますか？アプリケーションのパフォーマンスと安定性の維持に必要な可視性は得られますか？構成のセキュリティを確保し、脆弱性を特定できますか？クラウドに容易に移行でき、ベストプラクティスとプロセスを取り入れたアプリケーションを構築するための鍵は、効率的な管理です。**
- 2. 権限付与はリスクをもたらす可能性があることを認識する：クラウド機能により、チームメンバーはプロジェクトのニーズを満たすインフラストラクチャをデプロイすることができます。開発者は、必要なリソースとツールに即座にアクセスできるため、作業を迅速化できます。このように自由な状況はイノベーションとアプリケーション開発を加速させる可能性があります。リスクをもたらす可能性もあります。このリスクを軽減するには、開発者のリソースとツールを標準化し、セキュリティを確保した上で提供し、組織のプロセスと連携させる必要があります。**
- 3. 達成して終わりの目標としてではなく、継続的なプロセスとしてクラウドにアプローチする：ハイブリッドクラウドの導入に乗り出すことで柔軟性が向上します。そして、アジリティに欠ける環境や桁違いのコストがかかる環境では不可能だった方法で行動を迅速化し、革新し、競争することを可能にする新しい作業方法を導入する機会がもたらされます。現在の状況から次の段階へと進むプロセスの中で、アプリケーション開発や環境へのアプローチ方法を根本的に変える新しいテクノロジーに遭遇するでしょう。コンテナによるアプリケーションの可搬性の向上から、アプリケーションのリフト&シフト、進化する脅威に対する保護まで、ハイブリッドクラウドは、ビジネスとともに進化する長期的な戦略です。**



## 先進的な IT をサポートするハイブリッドクラウドの構築

### 2020 年の 主なクラウドの取り組み

1. クラウドの従来の使用方法を最適化する (コスト削減)
2. より多くのワークロードをクラウドに移行する
3. コンテナの使用を拡大する
4. クラウドファーストの戦略を進展させる
5. ガバナンスのポリシーを自動化する

新しいツールと新しい作業方法を利用できるクラウドアプローチにより、組織は進化するテクノロジーに対応できるようになります。しかし、ビジネスのペースについていくために最も効果的でセキュリティを重視したソリューションを確実に入手するにはどうすればよいでしょうか。

ハイブリッドクラウドは、先進的な IT のニーズに対応できるように構築されており、次のものをもたらします。



**複雑さを排除する選択肢:** データセンターでもクラウドでも、アプリケーションを実行する場所を選択できるため、複雑さを増すことなく IT の選択肢を広げることができます。



**可搬性:** 認定されたアプリケーションとコンテナ向けの一貫したエンタープライズ・プラットフォームとアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を活用して、物理クラウド、仮想クラウド、プライベートクラウド、パブリッククラウド間での可搬性を実現します。



**包括的なサポート:** ハイブリッド環境全体でグローバルサポートにアクセスし、一貫したサポート体験を得ることができます。



**管理性:** 物理、仮想、プライベート、およびパブリッククラウドにまたがるワークロードをシンプルかつ効率的に管理します。

出典:

Flexera、[「2020 State of the Cloud Report」](#)、2020 年 4 月。



## Red Hat Enterprise Linux: どのクラウドでも、 どのようなワークロードでも、1つの OS に対応

# 100%

フォーチュン・グローバル 500 に  
名を連ねる商業銀行、通信会社、  
メディア/テクノロジー企業、  
小売会社はすべて Red Hat 製品を  
利用しています。

出典:

Red Hat 顧客データとフォーチュン・  
グローバル 500 リスト、2021年。

クラウド向けに設計された Red Hat® Enterprise Linux® は、パブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウド環境にわたって一貫したオペレーティングシステム (OS) を提供し、ビジネスのあらゆる将来に対応できる柔軟性を備えています。



**革新:** アプリケーション・ストリームと強化された Red Hat Enterprise Linux コンテナツールを使用すれば、開発者は必要な場所と方法を柔軟に構築して、エッジサイトでも Red Hat Enterprise Linux に簡単にデプロイできます。Red Hat Enterprise Linux は、一連の合意済みのテクノロジーを標準化することにより、ビルドからデプロイまでのプロセスを単純化します。これらのテクノロジーは、十分にサポートされ、維持されており、セキュリティ重視でパフォーマンスが高く、プロダクションにすぐにデプロイできます。



**変革:** イメージビルダーと Red Hat Enterprise Linux コンテナツールを使用すると、クラウド環境とエッジ環境でのワークロードの変革が単純化され、高速化されます。サブスクリプションの可搬性により、複雑さが解消され、クラウドも含むすべてのフットプリントで管理性が向上します。



**最適化:** Performance Co-Pilot、Web コンソール、システムロール、および Red Hat Insights サービスは、Red Hat Enterprise Linux とその上で実行されるワークロードを構成するためのガイダンスと専門知識を提供するので、最適なパフォーマンスを実現し、効率を高め、管理を大規模に最適化できます。



**保護:** Security Content Automation Protocol (SCAP) プロファイル、システムロール、Red Hat Insights の脆弱性およびコンプライアンスサービスは、脆弱性を特定し、セキュリティ構成の実施を単純化することでリスクを緩和します。



## Red Hat とマイクロソフトのハイブリッドクラウド環境 によってクラウドのプロセスを前進させる

Red Hat とマイクロソフトは、豊富な経験を活かして、Red Hat Enterprise Linux と Microsoft Azure に高度なセキュリティ機能を組み込んでいます。このパートナーシップにより、リスクを軽減し、セキュリティを重視した運用環境を維持し、組織の最も重要なデータをより適切に保護できます。

Red Hat とマイクロソフトを使用すると、急速に変化する競争の激しい市場で組織を成功に導く、安全性、信頼性、柔軟性に優れたハイブリッドクラウド環境を迅速にデプロイできます。

Microsoft Azure と Azure Stack で Red Hat Enterprise Linux を実行すると、既存のデータセンターを接続されたクラウド環境に拡張して、急速に進化するビジネスニーズに対応することができます。

- ▶ オンプレミスおよびクラウド環境全体でテストされ、認定された相互運用性により、アプリケーションを迅速に起動して拡張し、信頼性、セキュリティ、パフォーマンスを向上させます。
- ▶ ハイブリッド環境全体で機能する高度な統合セキュリティ機能を使用して、データ、アプリケーション、ビジネスおよびインフラストラクチャを保護します。
- ▶ 従来のオンプレミスのアプリケーションとクラウドネイティブ・ワークロードを、一貫性のあるハイブリッド基盤と統合します。
- ▶ オンプレミスでクラウドネイティブ・アプリケーションを実行し、エッジ・ソリューションと切断されたソリューションのレイテンシーと接続性の要件を満たします。
- ▶ 統一されたツールと可視性により、シンプルなクラウド管理を提供します。
- ▶ Azure Hybrid Benefit を利用して、通常の従量課金制の料金と比較して最大 85% のコスト削減を実現します。<sup>1</sup>
- ▶ Azure Hybrid Benefit、予約によるコスト削減、セキュリティ更新の延長を組み合わせることで、所有コストを削減できます。<sup>1</sup>



## エンタープライズサポートと専門知識で容易に移行

# 66%

の組織が、移行がクラウドの最大の課題であると述べています。

出典：  
Flexera、「[2020 State of the Cloud Report](#)」、2020年4月。

Red Hat とマイクロソフトは共同で、Microsoft Azure で Red Hat ソリューションを実行しているお客様に統合されたエンタープライズサポートシステムを提供します。この完全なサポート体験の特長は、18 の地域に多数の言語を話すエンジニアが所在すること、両社のスタッフを同じ場所に配置していること、チケットシステムが統合されていること、協調的なエスカレーションと解決のプロセス備えていることです。

Red Hat とマイクロソフトによる統合サポートは、IT 業界では他に見られないサービスであり、技術的な課題への対処を模索するお客様に効率的なエクスペリエンスをもたらします。

### 今すぐ始める

Red Hat Enterprise Linux が、Microsoft Azure 上の先進的な IT 環境のためのインテリジェントで安定したセキュリティ重視の運用基盤をどのように提供するかについてご確認ください。

[Azure Marketplace](#) で [Red Hat Enterprise Linux 8](#) を使い始めましょう。



